

TACX スマートトレーナー

チェックマニュアル

準備

- お手元に [TACX UTILITY](#) アプリケーションがダウンロードされた端末(携帯電話等)をご用意ください。
- 5MM の HEX アーレンキーをご用意ください。

注:これからチェックするトレーナーが保証規定に当てはまるか下記 URL よりご確認ください。

保証規定

<http://nichinao.jp/archives/category/tacx/5306>

Tacx 製品保証規定に基づき、アフターサービスの全てを購入販売店様を通じて行って頂くこととなっております。

お問い合わせの際に、必ず購入を証明できるもの(購入証明書/領収書/レシート等)をご用意の上お問い合わせください。

提示が認められない場合、検査・修理をお断りさせていただく場合がございます。

● 電源ケーブルの通電

トレーナーを電源に接続します。

本体にしっかりと電源コードがささっているかご確認ください。

(自家発電モデルは自転車を取り付け漕ぐ必要がございます。)

下図の電源ランプがグリーン点灯もしくは点滅することをご確認ください。

通常と異なる点灯・点滅の場合別ページ電源ランプのエラーチェック(P9-11)をご確認ください



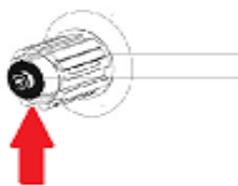
*モデルによって点滅の場合がございます

● フリーボディ固定ナットの締め付け

(タイヤドライブ式は不要なチェックです)

フリーボディ固定ボルト下図赤→のパーツ締め付けが適正かご確認ください。

スプロケットカセットが取り付けられた状態でもチェック可能でございます。



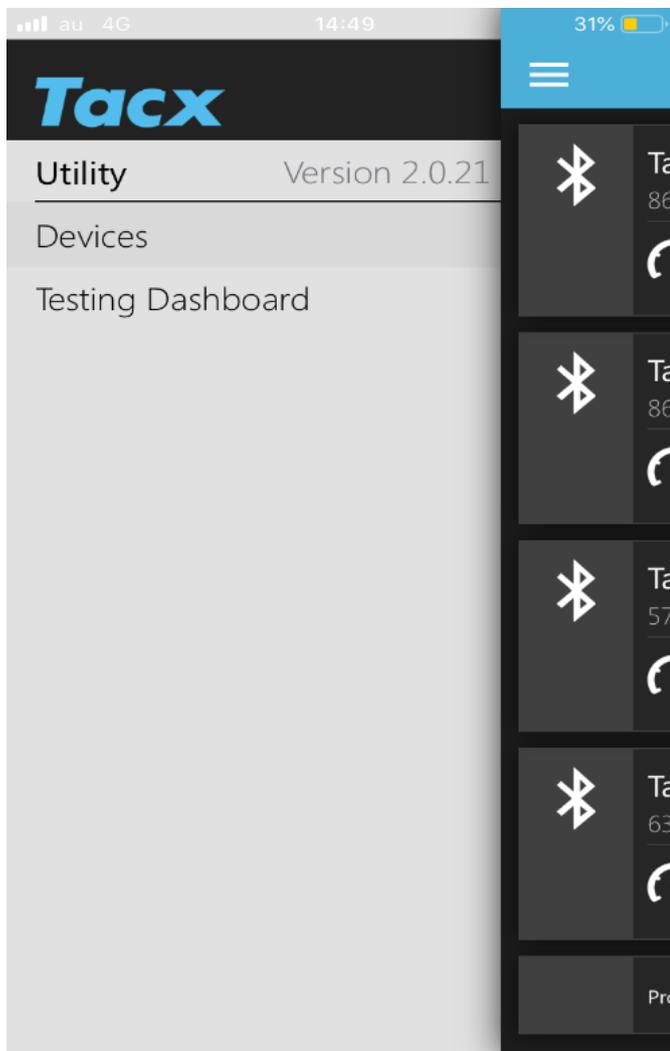
5mmHEX レンチで締め付け(5~7Nm) **締めすぎ注意！！**

- [TACX UTILITY でのチェック](#)

TACX UTILITY アプリケーションを起動します。

[～トレーナーとの接続～](#)

① 下画面図の左メニューより「Devices」を選択。



② Devices より接続可能なトレーナーがすべて表示され、接続したいトレーナーを選択します。



(トレーナーの表示シリアルナンバーはトレーナー脚部シールに記載されております)

注:Bluetooth 接続ができない場合

他の機器との接続や同機器内で他のアプリケーションと接続されていないかご確認ください。

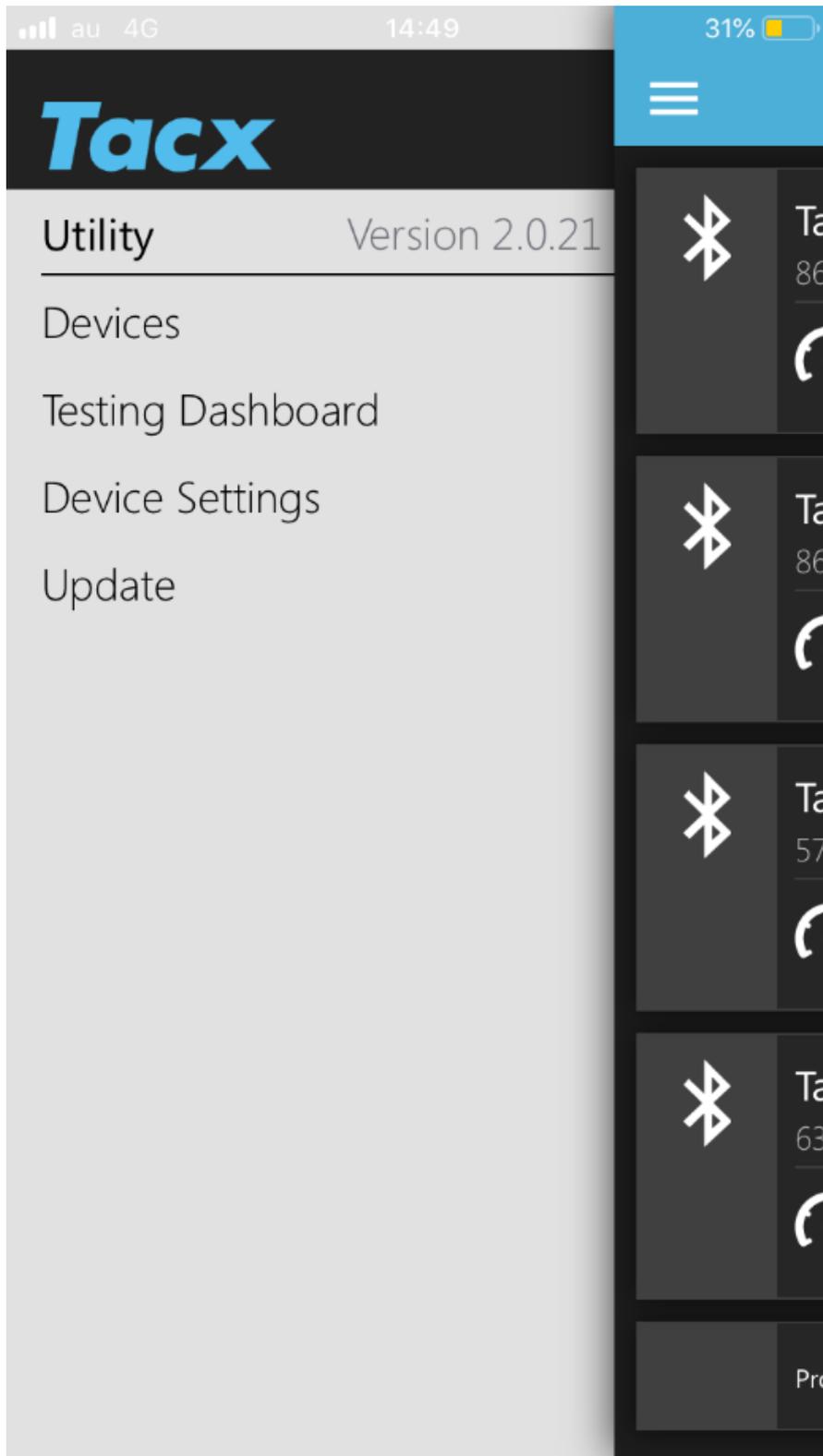
他のアプリケーションと接続を解除しないと接続ができない場合があります。

アプリケーションを閉じる際、ホームボタン等をただ押してアプリケーションを閉じた場合

バックグラウンドで接続が継続している場合がございます。

～エラーチェック～

- ① 再度メニューリストより「TESTING DASHBOARD」を選択。



② 接続されているトレーナーの状態が表示されます。

画面中段の5つのアイコンが点灯していないかチェックします。

警告アイコンは左から温度・低電圧・過電圧・内蔵バッテリー・CP チップセットとなります。



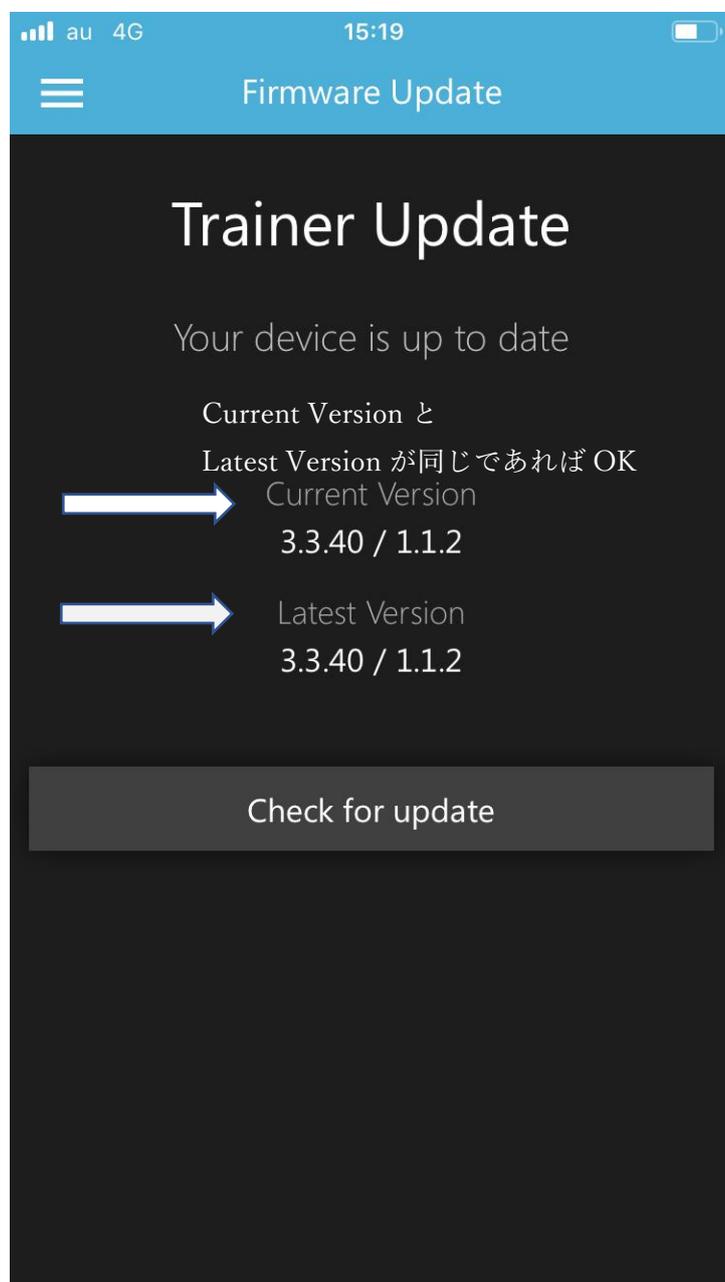
*ここでアイコンが一つでも点灯している場合異常がある可能性が高いためスクリーンショット等で記録をお願いいたします。

～ファームウェアアップデート～

必ず定期的なファームウェアアップデートをおすすめいたします。

ファームウェアアップデート内容により負荷調整・通信の問題等、ベストコンディションにてトレーナーをお使いいただけます。

- ① メニューリストに戻っていただき、④画面下の「UPDATE」を選択。
ファームウェアの状態をチェックします。

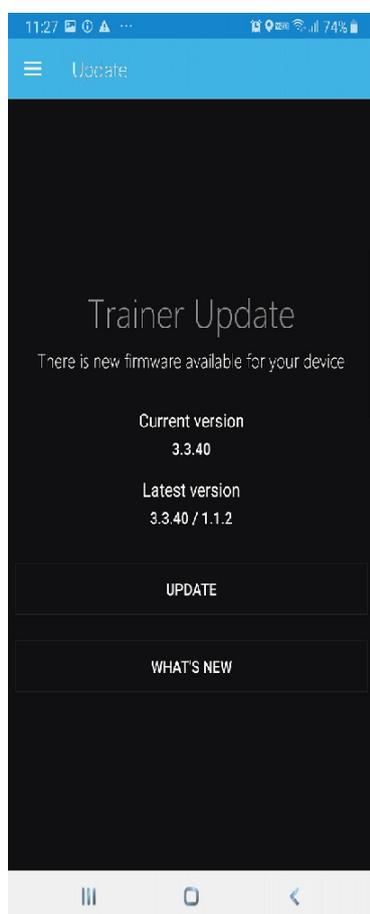


***ここで CURRENT VERSION と LATEST VERSION が異なる場合
画面下の「CHECK FOR UPDATE」よりアップデートが必要です。**

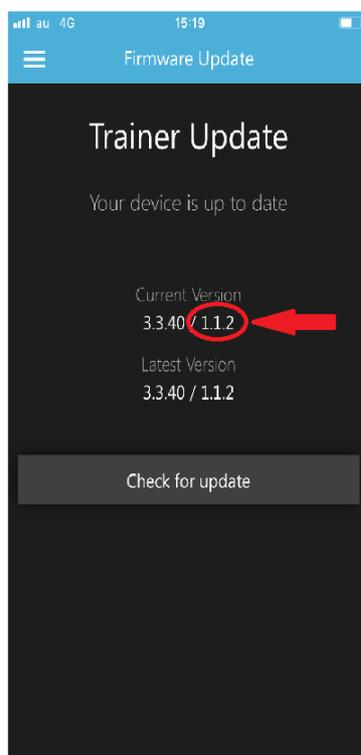
UPDATE を実施する際の注意点

- A) 接続機器のバッテリー残量が十分な状態(60%以上)で行ってください。(充電状態でも可)
- B) 他の BLUETOOTH 接続機器は全て接続機器から解除してください。
- C) バックグラウンドで起動している他アプリケーションは落としてください。
また一部機器においては省エネモード(バッテリー節約・通信制限)を解除してください。
- D) TACX UTILITY アプリを再インストールしていただき、起動、トレーナーの電源コードを挿し DEVICE 画面より 20 秒待つて接続します。
(電源コードを入れた際に電源ランプがオレンジになることがございますが手順を続けてください)、
- E) 接続後本体 BLUETOOTH 接続ランプがブルーになることを確認してください。
- F) UPDATE より再アップデートできるか確認します。
アップデート中は接続機器がスリープ状態にならないようにしてください。
アップデート中に他のアプリケーションを起動しないでください。

アップロードをされる際に端末がスリープ状態や接続が途中で切れた場合に
下画像のようになりセンサー等に異常が出る場合がございます。



途中でアップロードが止まった状態です



二つがそろった状態でCurrent VersionとLatest Versionが同一の場合正常なアップデートとなります。

上の状態になった場合は一度端末の BLUETOOTH 接続を OFF にし再度 ON した後
電源コードを抜いた状態で 20 分放置し、再度接続 TACX UTILITY にてアップロードをお願いいたします。
TACXUTILITY に接続できない・通信不具合等症状が改善しない場合は購入販売店様までお問い合わせください。

2. 電源ランプエラーコード-NEO シリーズ

それぞれのランプと意味

Normal operation LEDs



左からブルートゥース接続・中央に ANT 接続・右が電源となります。

① 電源ランプのみが点灯しない場合

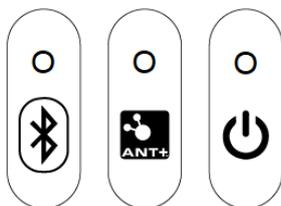


No red light when connected to external power

電源コードがしっかりと接続されているかご確認ください。

電源コードの AC アダプターのブルーランプが点灯しているかもご確認ください

② 全てのランプが点灯しない場合



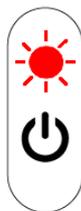
No lights at all

電源コードの AC アダプターのブルーランプが点灯しているかご確認ください。

AC コードのブルーランプが点灯しているにも関わらず、すべてのランプが点灯しない場合は一度電源コードをコンセントとトレーナーから抜いていただき60分放置し

再度接続ください。それでも改善しない場合は電源システムの異常が考えられます。

③ 電源ランプが点滅している場合

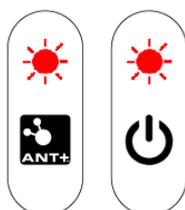


Flashing red power light

ファームウェアのアップデートに異常がある可能性があります。

一度電源コードを抜いて20分待ち、再度電源接続後 TACX UTILITY をアンインストール、ダウンロード、再度ファームウェアのアップデートを行ってください。

④ 電源ランプとANT 接続ランプが点滅している場合



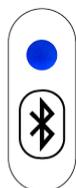
Two flashing red lights

オーバーヒートの可能性があります。

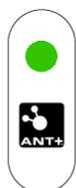
即使用を中止し、TACX UTILITY にトレーナーを接続し TESTING DASHBOARD でエラーチェックを行ってください。

3. 電源ランプエラーコード-FLUX シリーズ

それぞれのランプと意味



Trainer is connected to an app or device via Bluetooth



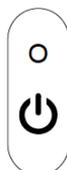
Trainer is connected to an app or device via ANT+



Trainer is externally power by the power adapter

左からブルートゥース接続・中央に ANT 接続・右が電源となります。

① 電源ランプのみが点灯しない場合

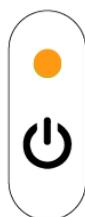


No green flashing light when connected to external power

電源コードがしっかりと接続されているかご確認ください。

複数の電気機器が接続される延長コード等に接続されている場合一度直接コンセントへ差し込みお試しください。

② 電源ランプがオレンジに点滅している場合



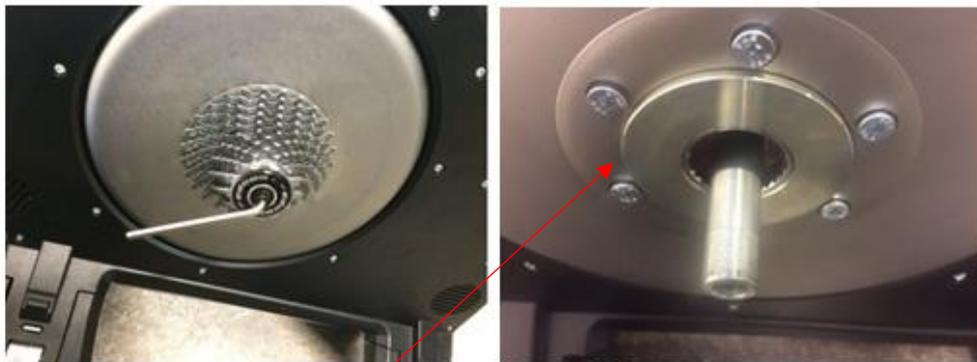
Solid amber power light

通常電源ランプはグリーン点灯ですがオレンジに点滅する場合はファームウェアのアップデートに問題が生じています。

TAGX UTILITY にて再度ファームウェアのアップデートを行ってください。

4. フリーボディのグリスアップ(ダイレクトドライブタイプ共通)

- ① 5MMアーレンキーを使いフリーハブ・カセットスプロケットを取り外します。
この時フリーボディとカセットは一体となつてはずれます。



トレーナーアクスルにスペーサーが1点ありますので紛失・入れ忘れにご注意ください。

- ② 取り外したキャップおよびフリーボディのラチェット部・スペーサーにグリスを塗布します。



グリスを塗布後、元のトレーナーアクスルにスペーサー⇒フリーボディ・カセットの順に戻します。
フリーボディのラチェット、スペーサーをしっかり入れたのち①キャップを締め付けます。
同時にカセットの取り付け・締め付けも確認してください。

～よくあるお問い合わせ一覧～

*ZWIFT との接続不良 (ANT+/BLUETOOTH)

確認された干渉の最も一般的な原因を以下にまとめました。

必ず接続確認前にトレーナーのエラーチェック・ファームウェアアップデートをご確認ください (P3-P8)

まずは以下の方法を試してみてください。

1. デバイス (PC/タブレット等) の Bluetooth をオフにしてから再度オンにする。
2. Zwift を再起動し、もう一度接続してください。

接続が切れる原因	信号タイプ	解決策/説明
Zwift コンパニオンアプリのエラー (ブリッジとして使用した場合)	Bluetooth	アプリのキャッシュを削除します。
物理的な距離	ANT+	ANT+ドングルとセンサーの距離を 90cm 以内に設置するようお勧めします。距離が短いほど効果的です。USB 延長ケーブルをご使用になれば簡単に解決します。
電池切れ	ANT+ と Bluetooth	電池を最近交換していない場合は、新しいものと交換してください。
ワイヤレス信号の干渉	ANT+ と Bluetooth	これにはワイヤレス信号を送信する、あるいは電磁場を発生させる全てのデバイスが含まれます。この記事の最後にある事例をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none">● Bluetooth ヘッドホン、スピーカー、補聴器● Wi-Fi ルーター (できれば、ご利用のコンピューター/iOS と ANT+デバイス間の信号帯域と干渉しないように、ルーターをチャンネル 3 のような周波数帯域の低い側に固定してくだ

接続が切れる原因	信号タイプ	解決策/説明
		<p>さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電子レンジ ● 衛星放送 ● パワーソース ● コードレス電話機 ● ワイヤレスの動画配信デバイス (Chromecast、AirPlay など) ● ワイヤレススピーカー ● 特定の外付けモニター、液晶ディスプレイ ● ケーブルを使ってコンピューターやパワーソースに接続するあらゆるデバイス ● 非シールドケーブル (特に ANT+ドングルの近くでプラグが差し込まれている場合) ● ルーターからベビーモニターまで、ワイヤレス信号を伝送するその他の全ての機器
サーキュレータ	ANT+ と Bluetooth	サーキュレータは周囲に電磁場を発生させ、信号をブロックします。センサーとコンピューターやスマートフォンの間にサーキュレータを置かないようにしてください。
ワイヤレスのコンピューターアクセサリ	ANT+ と Bluetooth	ワイヤレスのマウスやキーボードなど、アクセサリに使用される USB ドングルが干渉を引き起こす場合があります。
USB 接触不良	ANT+	ANT+ドングルがしっかり差し込まれていることを確認してください。
USB ポートへの電力不足	ANT+	USB ポートの中には 100mA しか電流供給しないものがありますが、ANT+ドングルは 500mA で最も効果的に機能します。ドングルへの給電が不十分だと思われる場合は、別の USB ポートまたは電源供給能力を強化したパワード USB ハブに切り替えてみてください。USB ポートの給電については、以下をご参照ください。

接続が切れる原因	信号タイプ	解決策/説明
物理的な障害	ANT+ と Bluetooth	センサーとコンピューターやスマートフォンの間に遮る物があると、信号が途切れる原因になります。
ハードウェアの故障	ANT+ と Bluetooth	上記の要因を解消しても問題が残る場合は、ご利用のセンサーの寿命が近いか、すでに寿命となっている可能性があります。この場合は、別のセンサーでテストして確認してみるのも 1 つの方法です。

* ZWIFT 社 SUPPORT ページからもご覧ください。

[HTTPS://SUPPORT.ZWIFT.COM/LANG/JA/](https://support.zwift.com/lang/ja/)

* Flux シリーズのベルト音

使用経年数が長くなる（1年以上経過）場合にベルトよりキシミ音がすることがあります。

これはベルトの乾燥や使用環境の気温差によって引き起こされる可能性があります、ライドを開始後数分漕ぎ続けることによって解消されます。

もし数分ライド経過後も解消されない、ペダリングをやめてフライホイールが空転している状態でも音がする場合は購入販売店様までお問い合わせください。

* NEO シリーズのモーターブレーキディスクの音

NEO シリーズのモーターブレーキディスク内でガラガラと金属が擦れるような音が発生する場合があります。

直ちに使用を中止して、P12 をご覧いただきフリーボディの締め付けを確認後、音が解消されない場合は購入販売店様までお問い合わせください。